

# 市内中小企業景況調査報告書

令和2年 5月～ 8月 実績

令和2年 9月～12月 見通し

令和2年 8月

江別商工会議所

# 目 次

## I 調査要領

1. 調査対象	2
2. 調査方法	2
3. 業種別回答状況	2

## II 江別市内の経済動向

1. 常時使用従業員数	3
2. 業 況	3
3. 売上状況	8
4. 利益状況	9
5. 資金繰り状況	10
6. 設備投資状況	11
7. 雇用状況	12
8. 「外国人技能実習生」または「外国人労働者」の受け入れ状況	13
9. 経営上の問題点	14

## III 業種別参考資料

1. 製造業	15
2. 小売業	16
3. サービス業	17
4. 建設業	18

# I 調査要領

## 1. 調査対象

- ・市内中小企業 400企業
- 【内訳】
  - ・製造業 80企業
  - ・卸売業 50企業
  - ・小売業 69企業
  - ・サービス業 101企業
  - ・建設業 100企業

## 2. 調査方法

- ・郵送によるアンケート調査を実施した。
- ・調査票発送日 令和2年7月31日
- ・調査票回答期限 令和2年8月26日

## 3. 業種別回答状況

業種	発送企業数	回答企業数	回答率
製造業	80	51	63.8%
卸売業	50	20	40.0%
小売業	69	31	44.9%
サービス業	101	40	39.6%
建設業	100	51	51.0%
合計	400	193	48.3%

※ 本調査結果報告書中の「DI 値」とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、調査項目についての「良い、増加、過剰」とした企業割合から「悪い、減少、不足」とした企業割合を差し引いた値を示す。

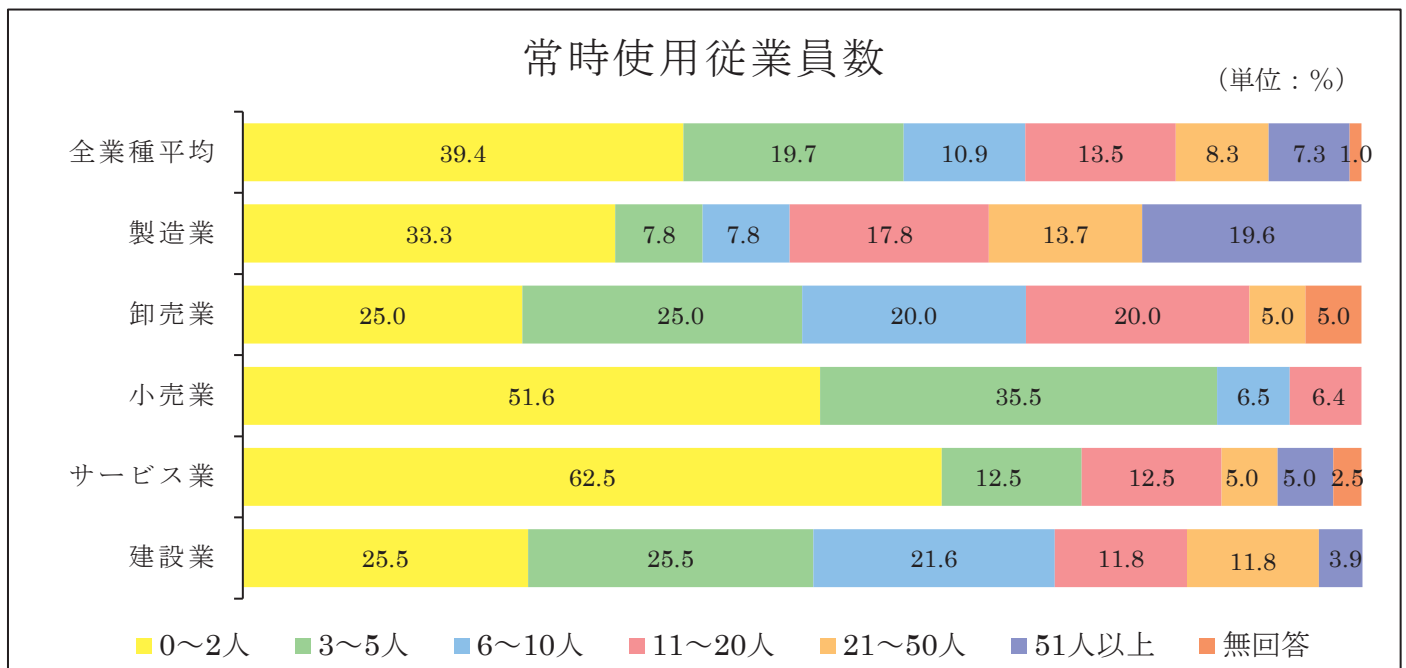
※ 本調査結果報告書中の「前回」とは、令和2年4月（令和2年1月～4月）を示し、「前年同期」とは、令和元年8月（令和元年5月～8月）を示す。

## II 江別市内の経済動向

### 1. 常時使用従業員数

回答企業の従業員数内訳は下記のとおりであり、構成割合は全業種平均で20人以下の企業が約84%を占めており、そのほとんどが小規模企業であることが分かる。

このように、江別市内の企業形態は、大部分が小規模企業であることから、小規模企業の業況が市内の景況に大きく影響を与えていることが予測される。



### 2. 業 況

内閣府が発表した月例経済報告（令和2年8月発表）によると、個人消費はこのところ持ち直してきているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益は大幅な減少が続き、設備投資は弱含み、雇用情勢は弱い動き、倒産件数も増加がみられるなど、企業の業況判断は厳しさが残るものの、改善の動きがみられる。景気は感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられるとの判断が示され、先行きについては、感染拡大防止策を講じつつ社会経済活動レベルを引き上げていくなかで、政策の効果や海外経済の改善もあり、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、感染症が内外経済に与える影響や金融資本市場の変動に十分留意する必要があるとされている。

北海道経済産業局が発表した管内経済概況（令和2年8月発表）によると、個人消費は「一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる」、生産活動は「下げ止まりの動きがみられる」、公共工事についても「増加している」との判断となり7月より上方修正された。住宅建設は「低下している」、民間設備投資についても「減少している」の判断が継続されており、企業倒産については「件数、負債総額とも減少している」となった。雇用動向も「弱い動きがみられる」が継続され、有効求人倍率は0.93倍と前年同月比0.23ポイント減少、6か月連続で前年を下回った。道内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に下げ止ま

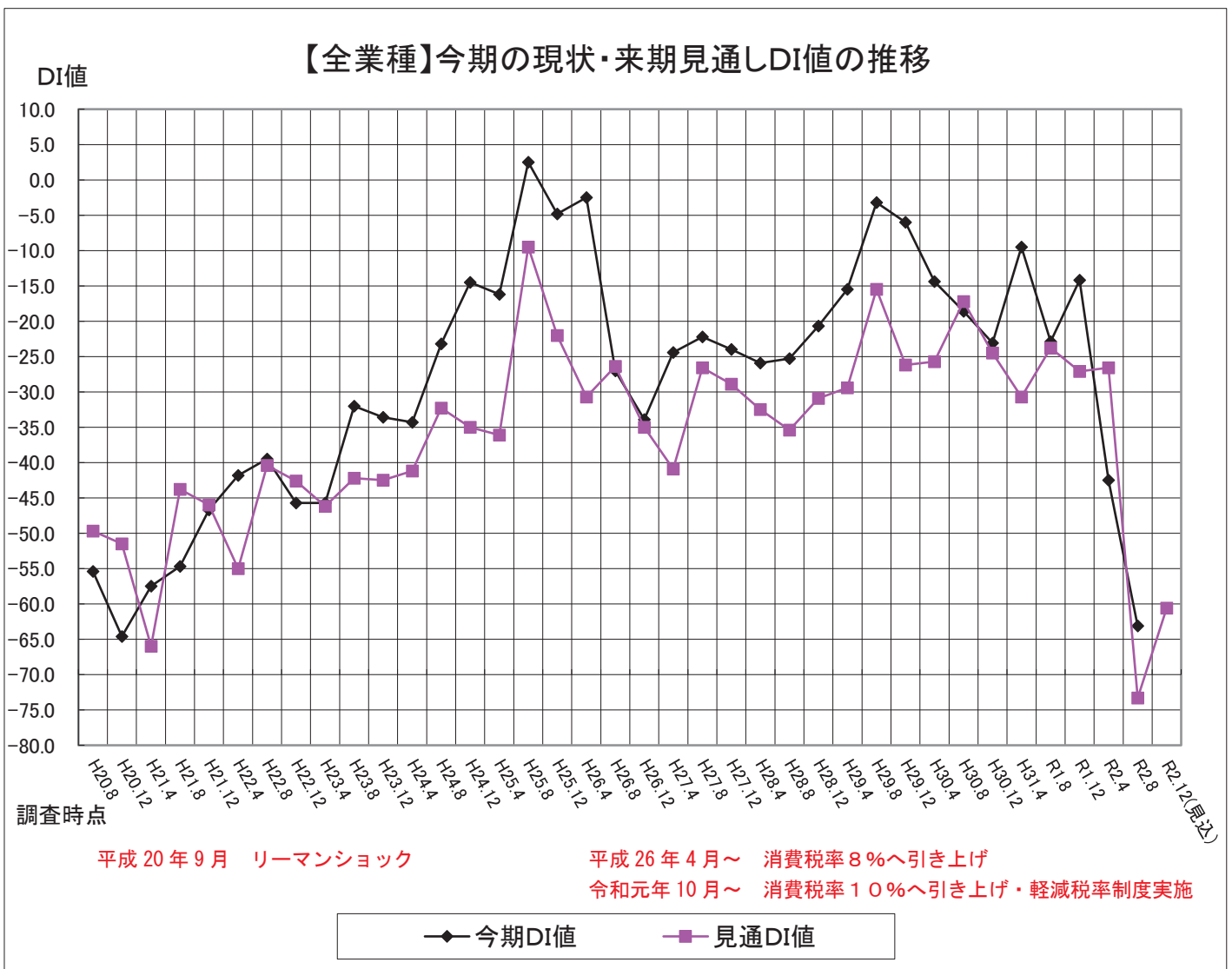
りの動きがみられる。先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要があるとされている。

こうした情勢下、当所が行った江別市の景況調査（令和2年5月～8月）では、全業種平均の今期業況DI値は△63.1と前回（令和2年4月期）△42.5に比べ20.6ポイントの大幅な悪化となった。業種別に見ても、製造業で24.0ポイント、卸売業で16.7ポイント、小売業では33.4ポイント、サービス業では8.1ポイント、建設業では26.0ポイントと全ての業種で悪化した。また、今期業況DI値を前年同期（令和元年8月期）の調査結果と比較しても、製造業で29.7ポイント、卸売業で23.8ポイント、小売業で37.2ポイント、サービス業で54.7ポイント、建設業で49.0ポイントの悪化となっている。今期の景況感は全業種で悪化しており、新型コロナウイルス感染症の影響を受け厳しい状況が続いている。

来期の見通しDI値を今期の業況DI値と比較すると、製造業で13.7ポイント、卸売業で5.0ポイント、サービス業で22.5ポイントの改善となったが、小売業で19.4ポイント、建設業で11.8ポイント悪化の見通しとなった。景況の先行きについては依然として厳しい状況にあるが、一部業種で下げ止まりの動きがみられる。

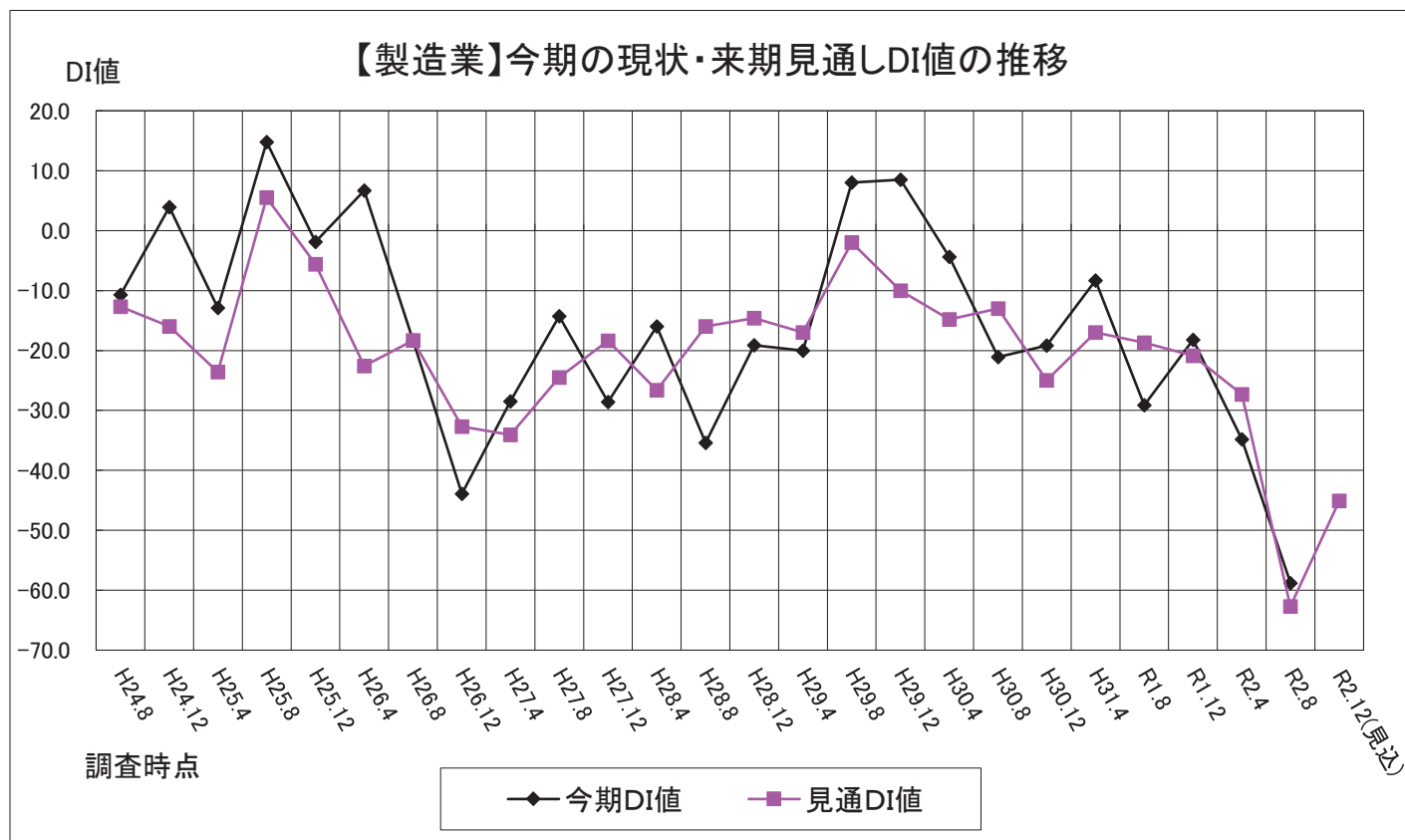
### 全業種平均

- ・今期DI値は△63.1となり、前回より20.6ポイント、前年同期より40.2ポイント悪化。
- ・来期DI値は△60.6となり、今期より2.5ポイント改善。



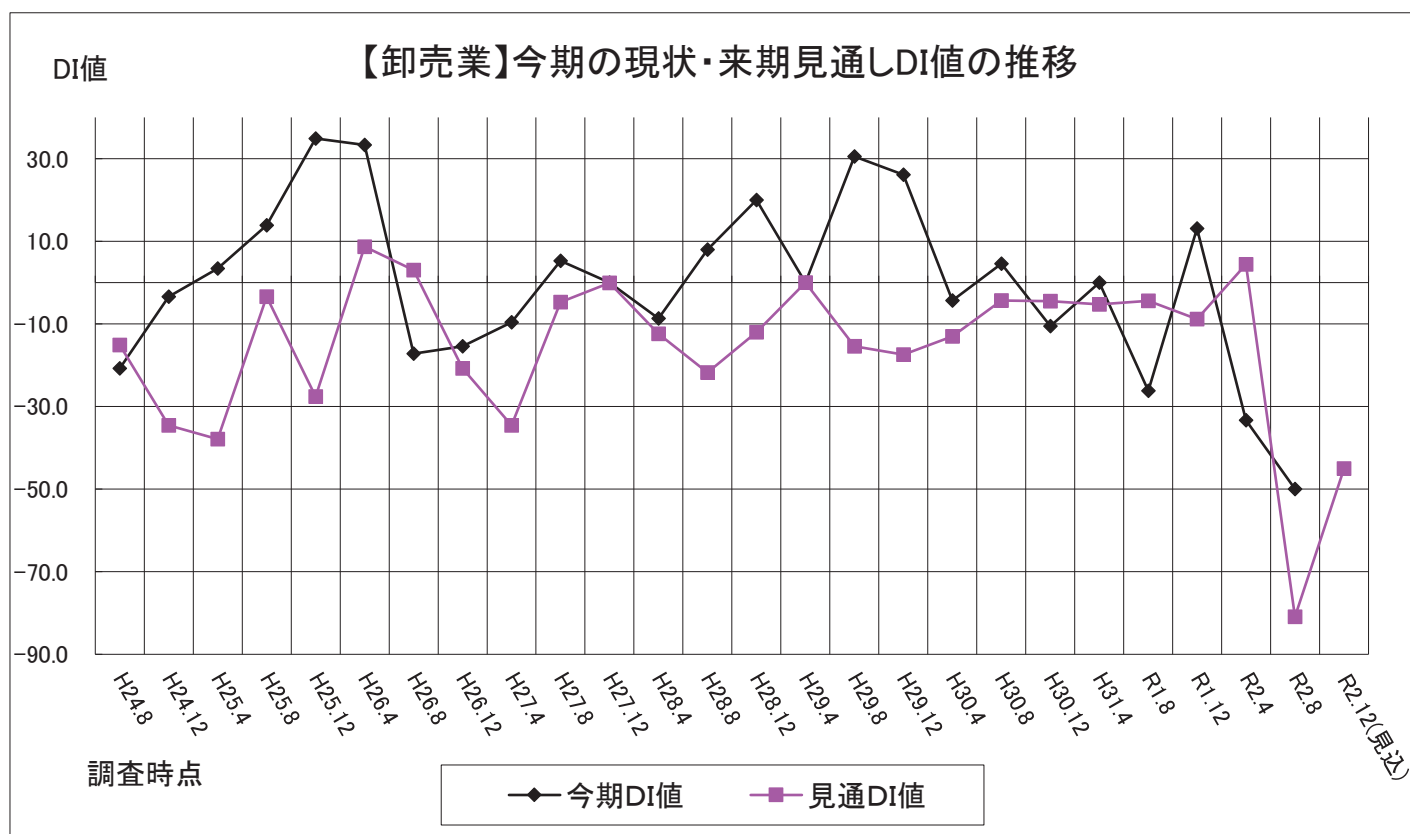
## 製造業

- ・今期D I 値は $\Delta 58.8$ となり、前回より24.0ポイント、前年同期より29.7ポイント悪化。
- ・来期D I 値は $\Delta 45.1$ となり、今期より13.7ポイント改善。



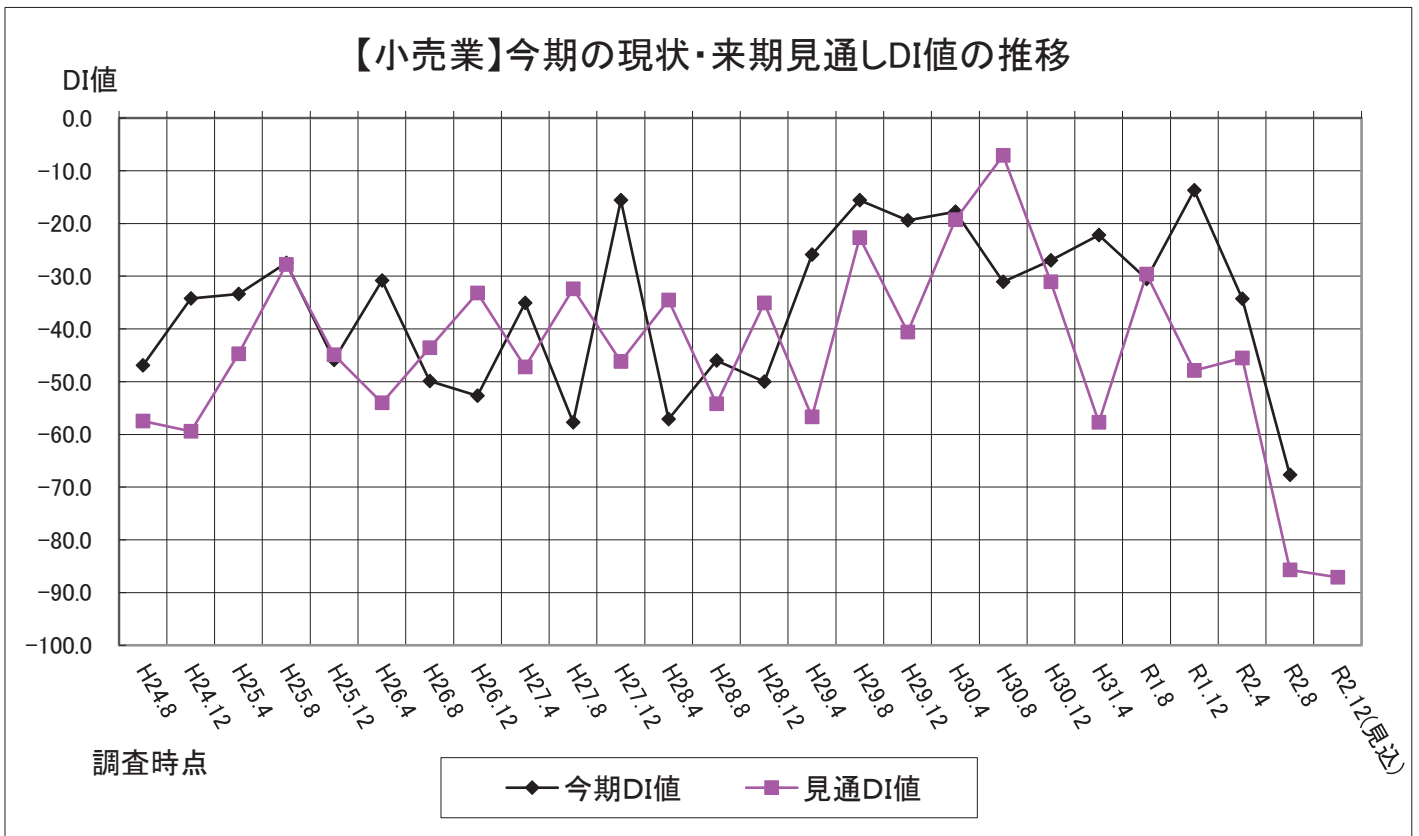
## 卸売業

- ・今期D I 値は $\Delta 50.0$ となり、前回より16.7ポイント、前年同期より23.8ポイント悪化。
- ・来期D I 値は $\Delta 45.0$ となり、今期より5.0ポイント改善。



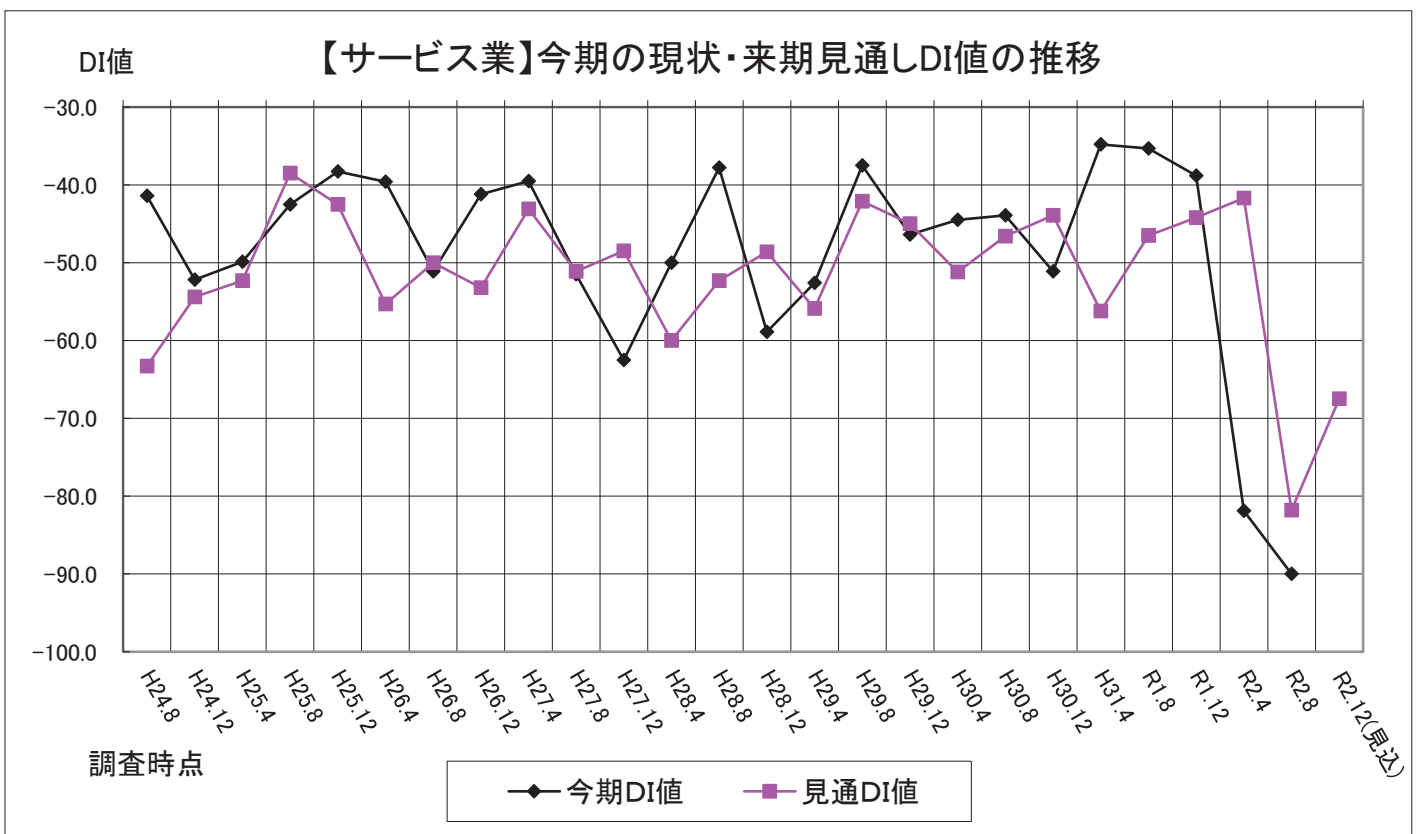
## 小 売 業

- ・今期D I 値は△67.7となり、前回より33.4ポイント、前年同期より37.2ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△87.1となり、今期より19.4ポイント悪化。



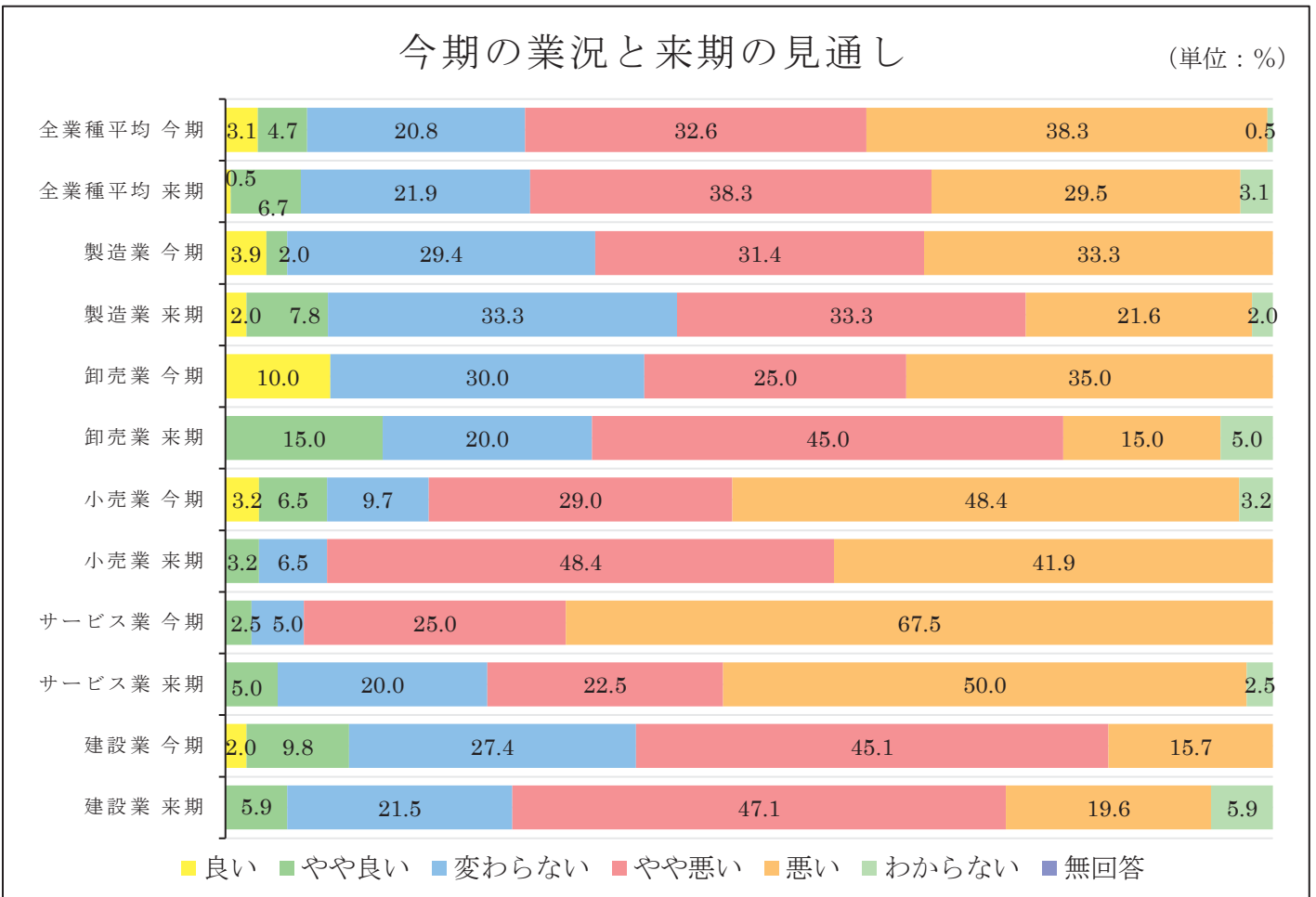
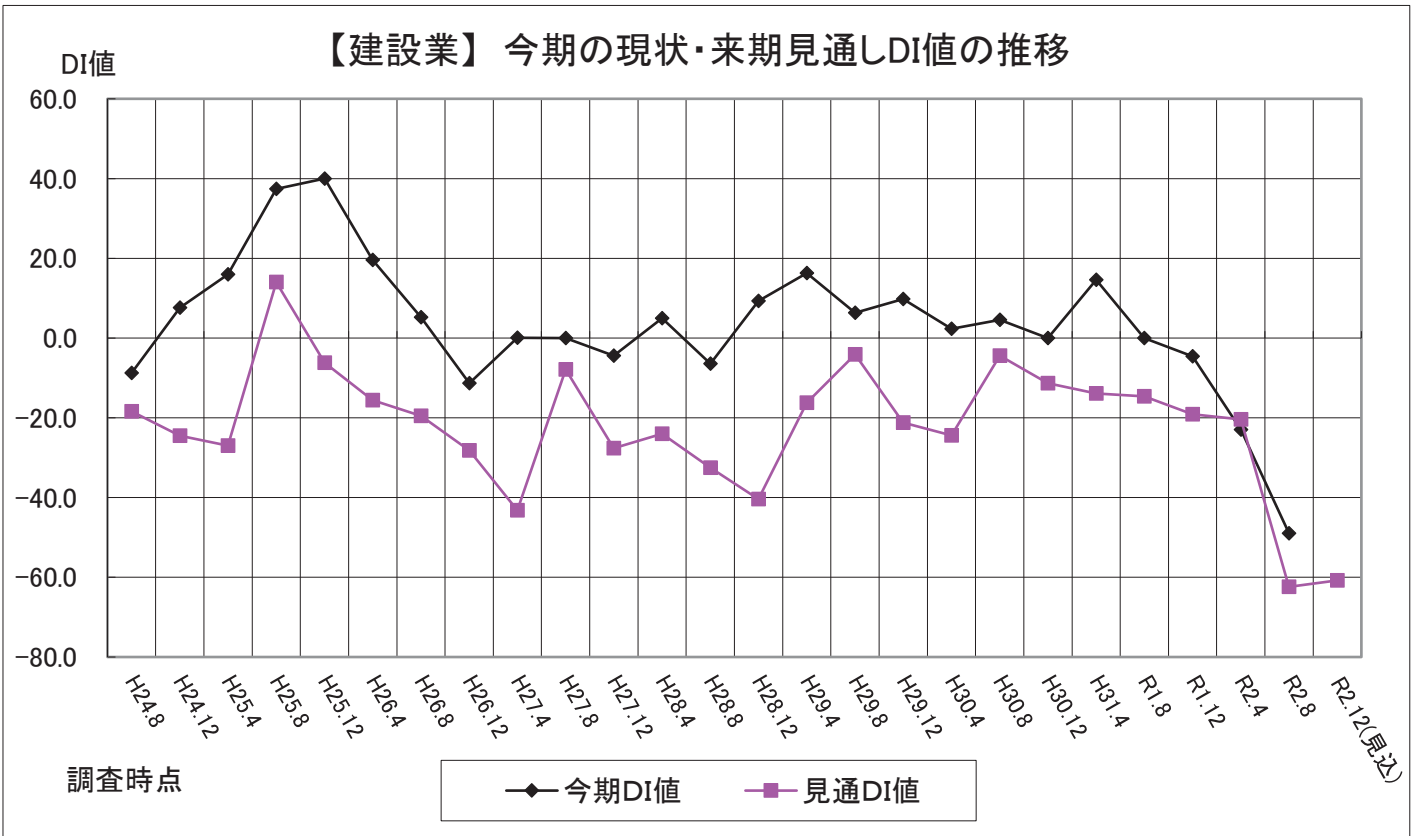
## サービス業

- ・今期D I 値は△90.0となり、前回より8.1ポイント、前年同期より54.7ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△67.5となり、今期より22.5ポイント改善。



## 建設業

- ・今期D I値は△49.0となり、前回より26.0ポイント、前年同期より49.0ポイント悪化。
- ・来期D I値は△60.8となり、今期より11.8ポイント悪化。





### 3. 売上状況

#### 全業種平均

- ・今期D I 値は△58.1となり、前回より11.5ポイント、前年同期より37.4ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△64.3となり、今期より6.2ポイント悪化。

#### 製造業

- ・今期D I 値は△53.0となり、前回より18.2ポイント、前年同期より30.1ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△43.1となり、今期より9.9ポイント改善。

#### 卸売業

- ・今期D I 値は△35.0となり、前回より11.2ポイント、前年同期より13.3ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△55.0となり、今期より20.0ポイント悪化。

#### 小売業

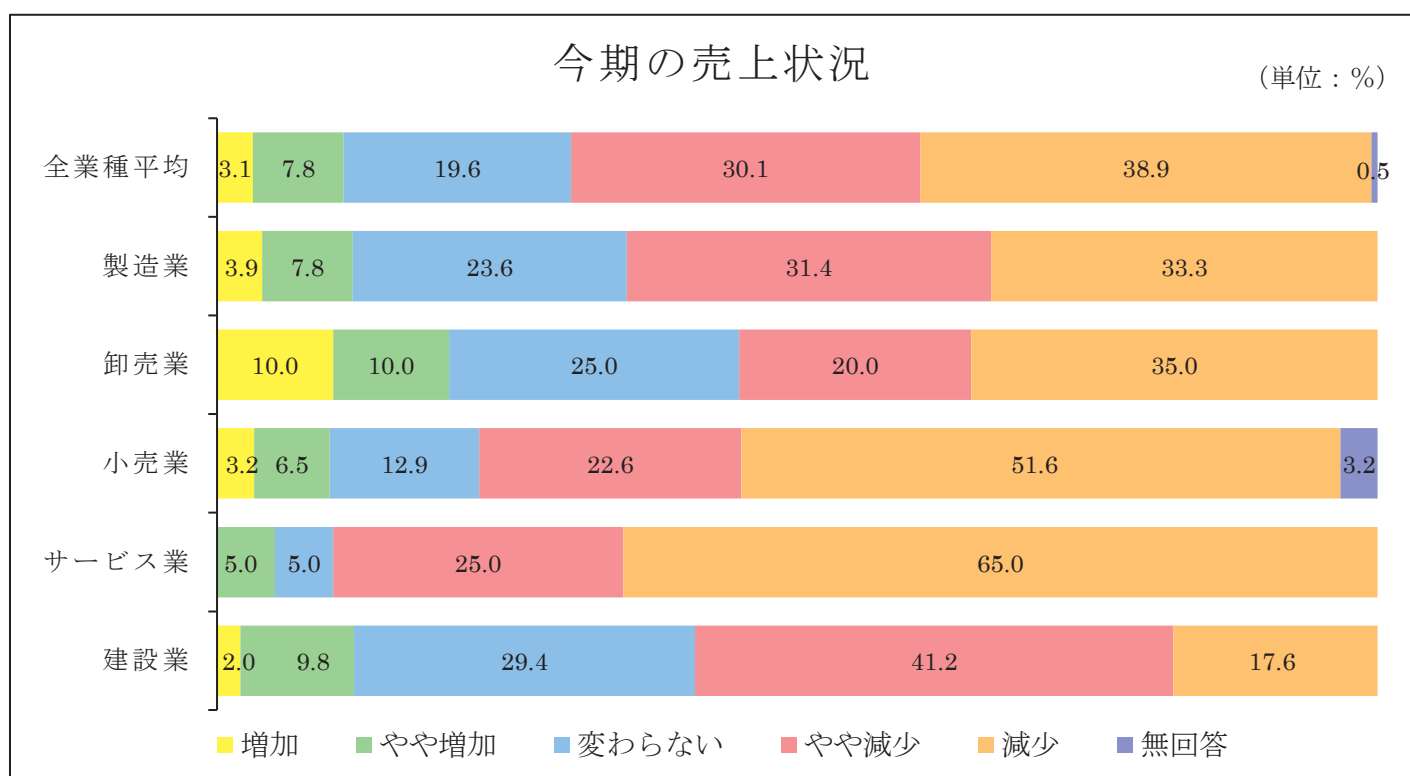
- ・今期D I 値は△64.5となり、前回より10.2ポイント、前年同期より47.2ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△90.3となり、今期より25.8ポイント悪化。

#### サービス業

- ・今期D I 値は△85.0となり、前回より3.2ポイント、前年同期より41.0ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△82.5となり、今期より2.5ポイント改善。

#### 建設業

- ・今期D I 値は△47.0となり、前回より17.8ポイント、前年同期より46.9ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△58.8となり、今期より11.8ポイント悪化。



## 4. 利益状況

### 全業種平均

- ・今期D I 値は△58.0となり、前回より16.8ポイント、前年同期より35.6ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△63.2となり、今期より5.2ポイント悪化。

### 製造業

- ・今期D I 値は△35.3となり、前回より9.7ポイント、前年同期より6.2ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△45.1となり、今期より9.8ポイント悪化。

### 卸売業

- ・今期D I 値は△40.0となり、前回より6.7ポイント、前年同期より22.5ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△50.0となり、今期から10.0ポイント悪化。

### 小売業

- ・今期D I 値は△74.3となり、前回より34.3ポイント、前年同期より52.5ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△74.1となり、今期D I 値とほぼ同水準。

### サービス業

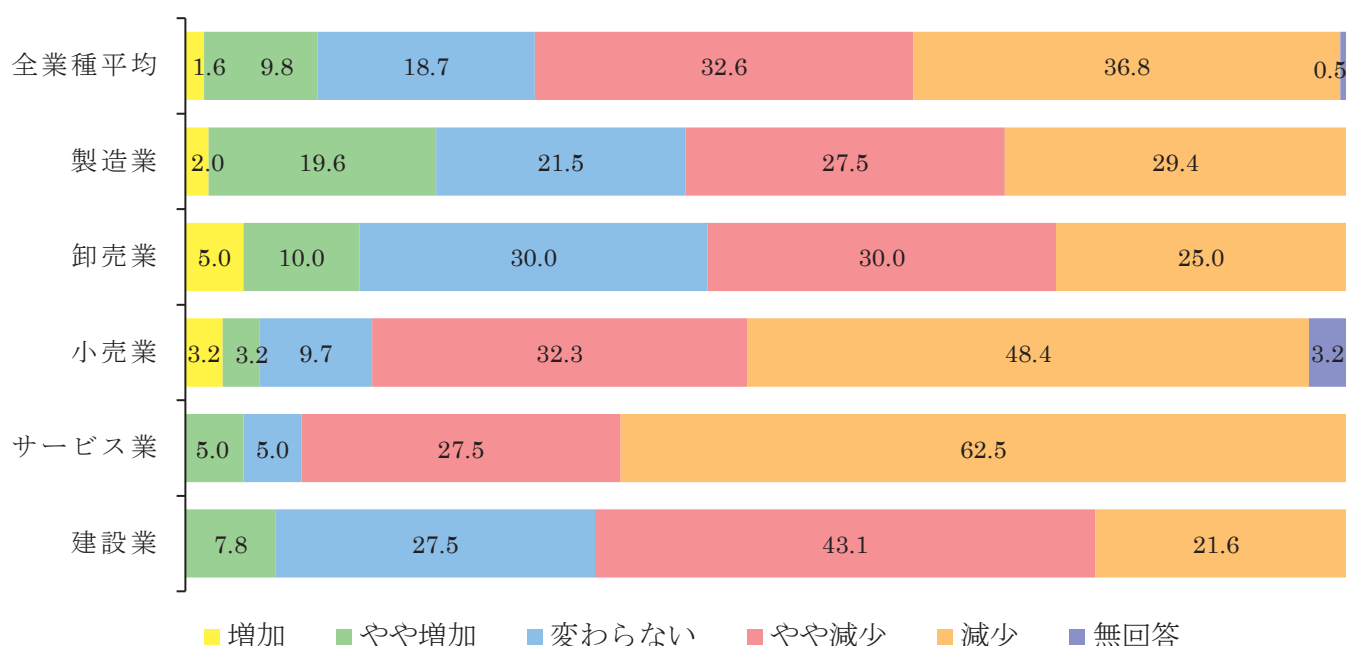
- ・今期D I 値は△85.0となり、前回より7.7ポイント、前年同期より52.7ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△82.5となり、今期より2.5ポイント改善。

### 建設業

- ・今期D I 値は△56.9となり、前回より29.8ポイント、前年同期より47.3ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△64.7となり、今期より7.8ポイント悪化。

## 今期の利益状況

(単位：%)



## 5. 資金繰り状況

### 全業種平均

- ・今期D I 値は△25.9となり、前回より1.3ポイント改善、前年同期より13.0ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△37.8となり、今期より11.9ポイント悪化。

### 製造業

- ・今期D I 値は△19.6となり、前回より12.6ポイント、前年同期より9.1ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△29.4となり、今期より9.8ポイント悪化。

### 卸売業

- ・今期D I 値は5.0となり、前回より28.8ポイント、前年同期より26.8ポイント改善。
- ・来期D I 値は△20.0となり、今期より25.0ポイント悪化。

### 小売業

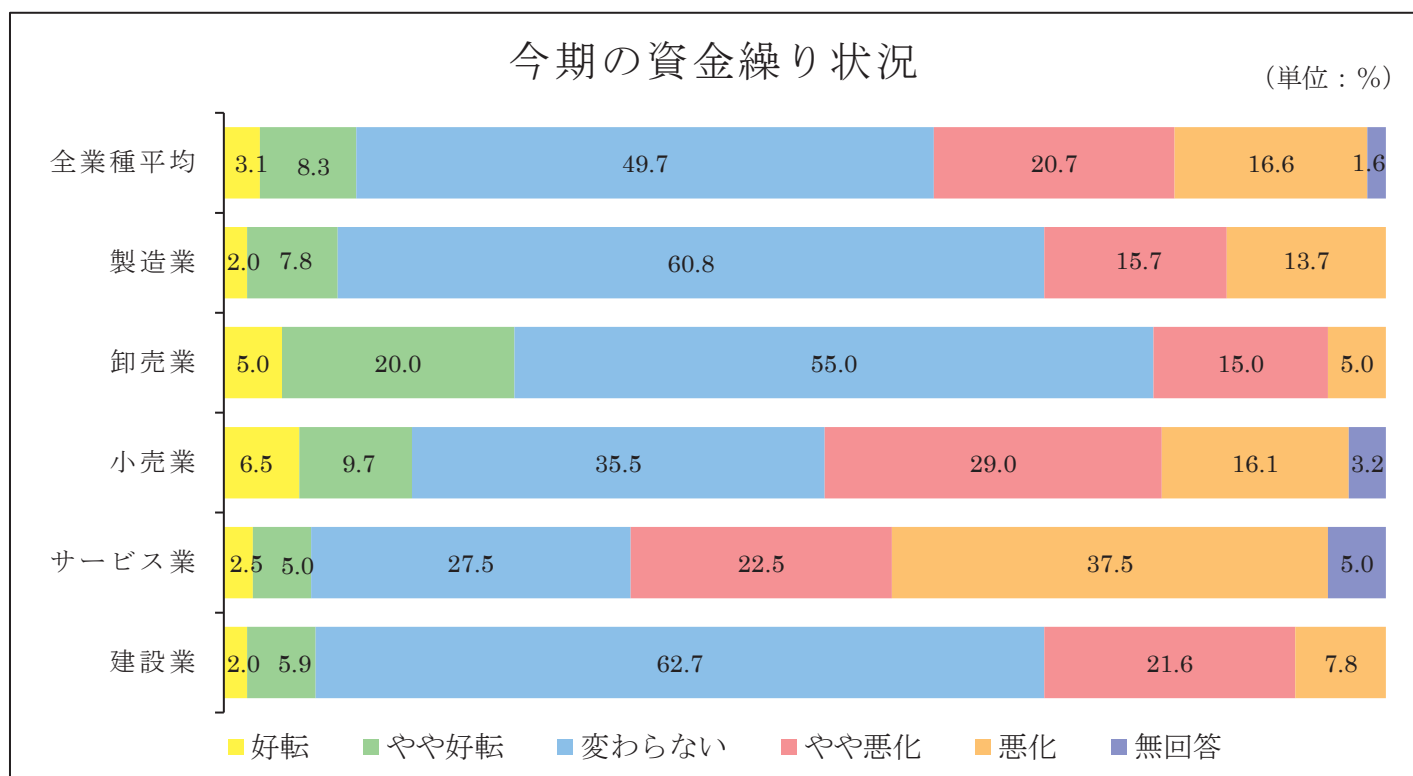
- ・今期D I 値は△28.9となり、前回より8.2ポイント改善、前年同期より24.5ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△38.7となり、今期より9.8ポイント悪化。

### サービス業

- ・今期D I 値は△52.5となり、前回より6.6ポイント改善、前年同期より17.2ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△57.5となり、今期より5.0ポイント悪化。

### 建設業

- ・今期D I 値は△21.5となり、前回より11.0ポイント、前年同期より23.9ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△37.2となり、今期より15.7ポイント悪化。



## 6. 設備投資状況

### 全業種平均

- ・今期に設備投資を行った割合は27.1%となり、前回より3.0%、前年同期より0.6%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は17.1%となり、今期より10.0%減少。

### 製造業

- ・今期に設備投資を行った割合は39.2%となり、前回より6.6%増加、前年同期より6.6%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は21.6%となり、今期より17.6%減少。

### 卸売業

- ・今期に設備投資を行った割合は10.0%となり、前回より9.0%、前年同期より16.1%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は25.0%となり、今期より15.0%増加。

### 小売業

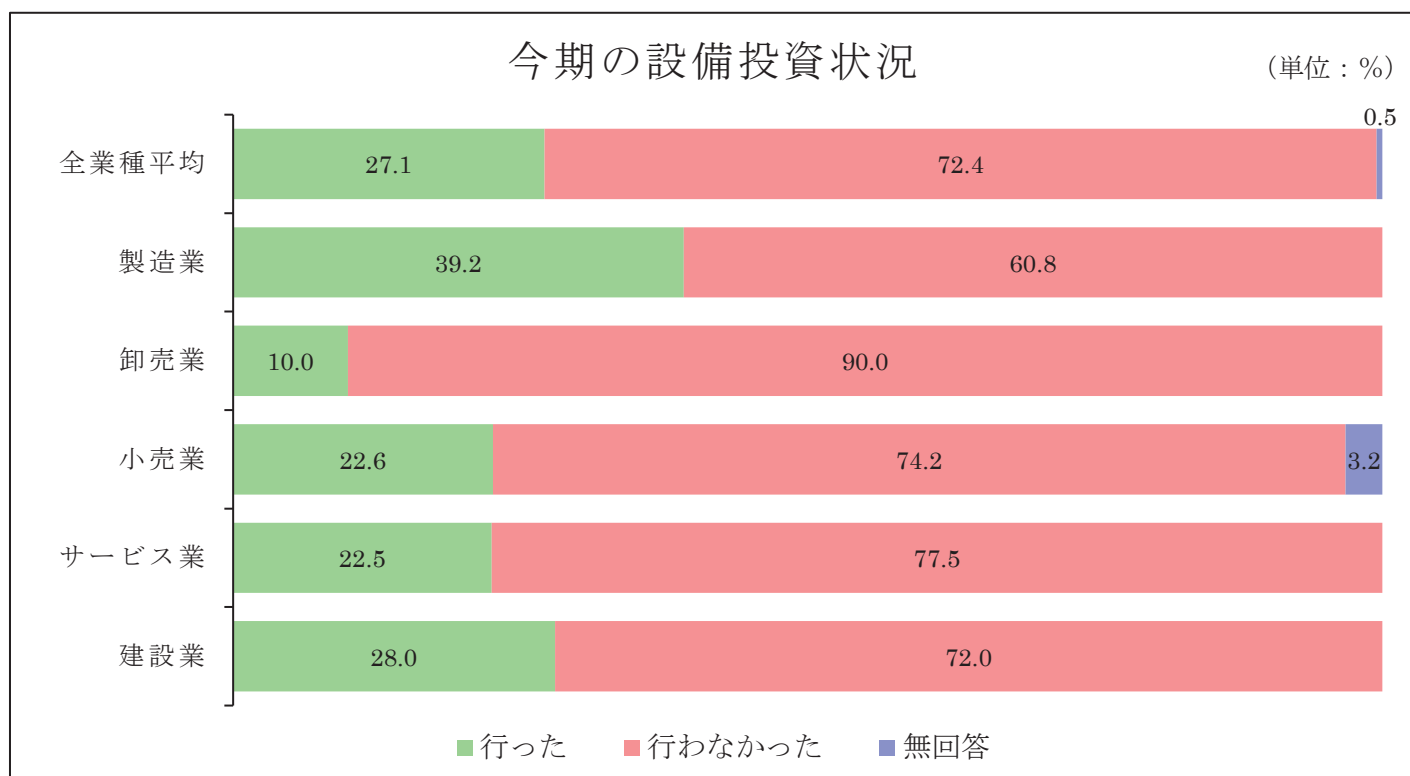
- ・今期に設備投資を行った割合は22.6%となり、前回より6.0%減少、前年同期より0.9%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は16.1%となり、今期より6.5%減少。

### サービス業

- ・今期に設備投資を行った割合は22.5%となり、前回より4.3%、前年同期より13.7%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は10.0%となり、今期より12.5%減少。

### 建設業

- ・今期に設備投資を行った割合は28.0%となり、前回より7.2%、前年同期より6.6%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は15.7%となり、今期より12.3%減少。



## 7. 雇用状況（『今期の雇用状況』は「従業員を雇用している企業」のみ回答）

### 全業種平均

- ・今期D I値は△21.0となり、前回より23.3ポイント、前年同期より22.6ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は21.2%となり、前回より3.4%減少。

### 製造業

- ・今期D I値は△21.5となり、前回より15.5ポイント、前年同期より20.0ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は27.5%となり、前回より9.7%減少。

### 卸売業

- ・今期D I値は△5.6となり、前回より49.4ポイント、前年同期より27.7ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は20.0%となり、前回より5.7%増加。

### 小売業

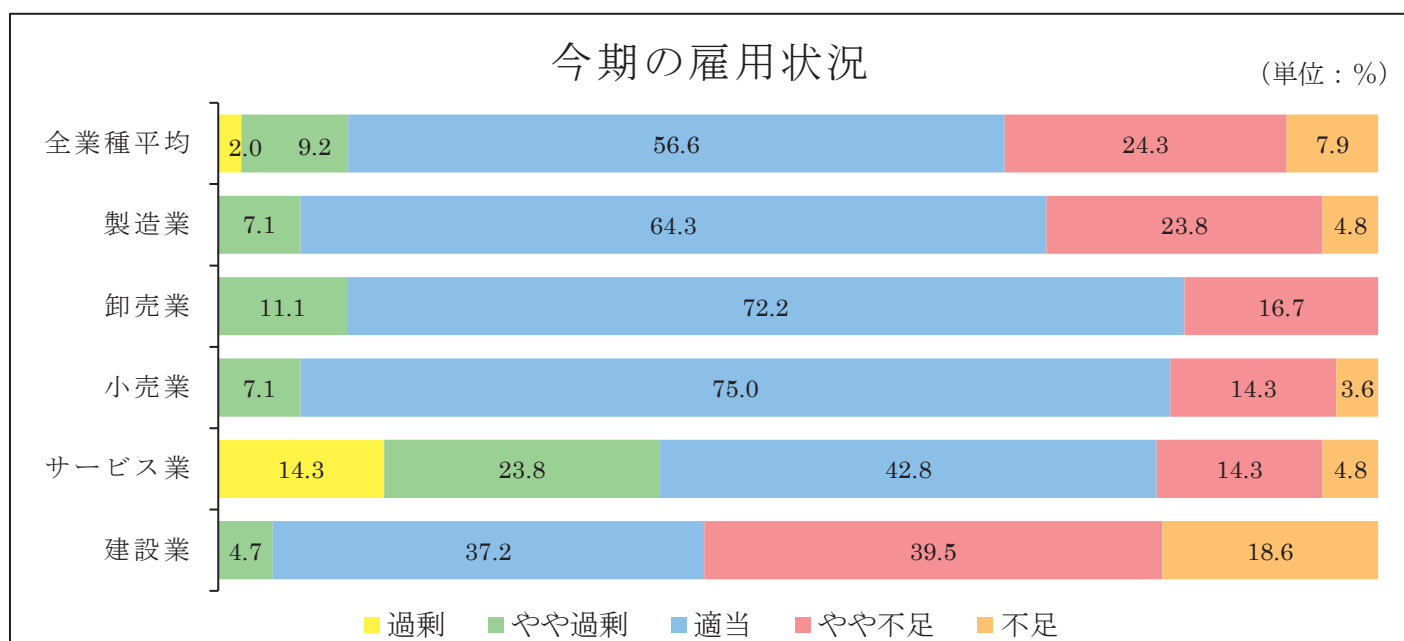
- ・今期D I値は△10.8となり、前回より22.5ポイント、前年同期より14.2ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は9.7%となり、前回より7.4%減少。

### サービス業

- ・今期D I値は19.0となり、前回より56.0ポイント、前年同期より76.8ポイント不足感が減少し過剰感が発生。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は7.5%となり、前回より1.6%減少。

### 建設業

- ・今期D I値は△53.4となり、前回より5.1ポイント、前年同期より3.7ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は33.3%となり、前回より4.2%減少。



## 8. 「外国人技能実習生」または「外国人労働者」の受け入れ状況

### 全業種平均

- ・「受け入れている」企業は4.2%となり、前回より1.0%増加。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は7.3%となり、前回より2.5%増加。

### 製造業

- ・「受け入れている」企業は7.8%となり、前回より0.8%増加。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は3.9%となり、前回より3.1%減少。

### 卸売業

- ・「受け入れている」企業は前回に引き続き無し。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は10.0%となり、前回より5.2%増加。

### 小売業

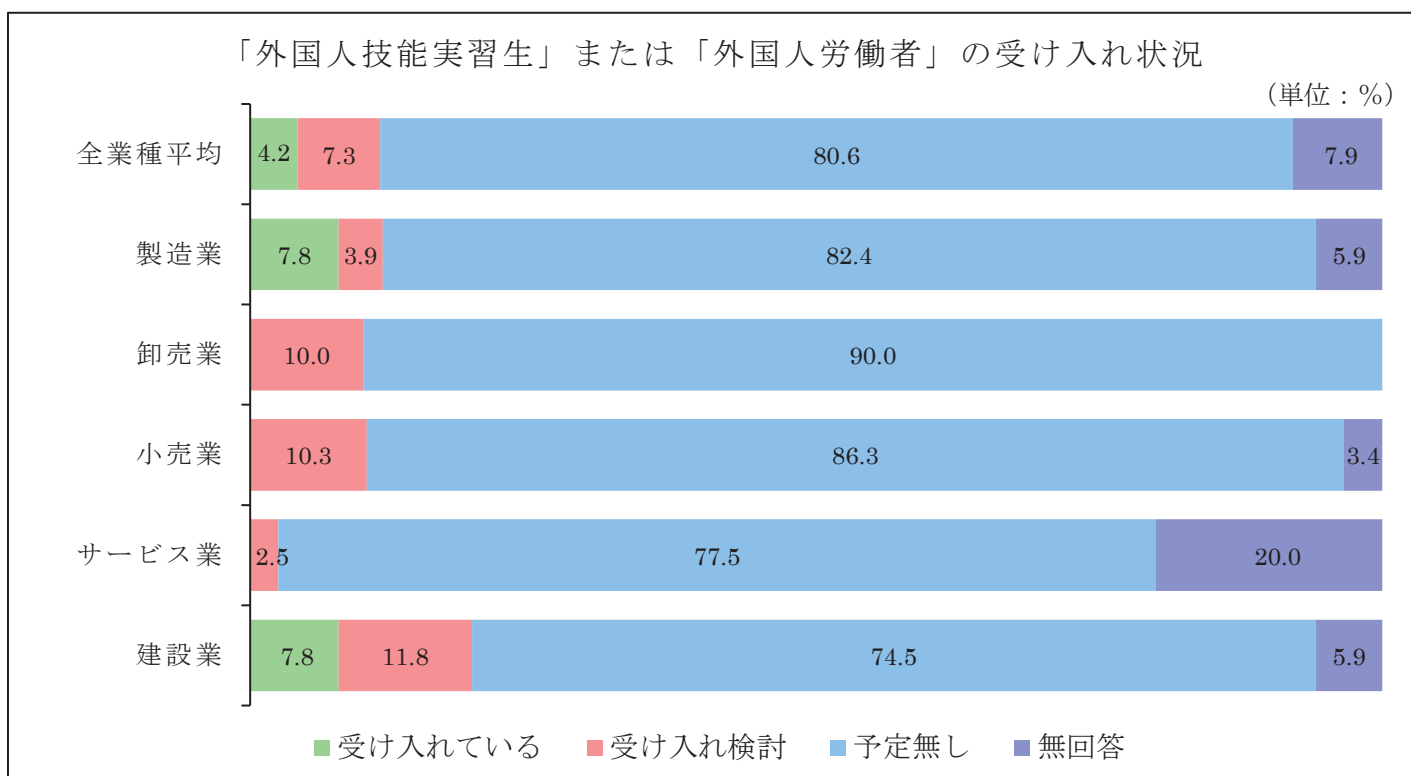
- ・「受け入れている」企業は前回に引き続き無し。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は10.3%となり、前回より10.3%増加。

### サービス業

- ・「受け入れている」企業は前回に引き続き無し。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は2.5%となり、前回より2.5%増加。

### 建設業

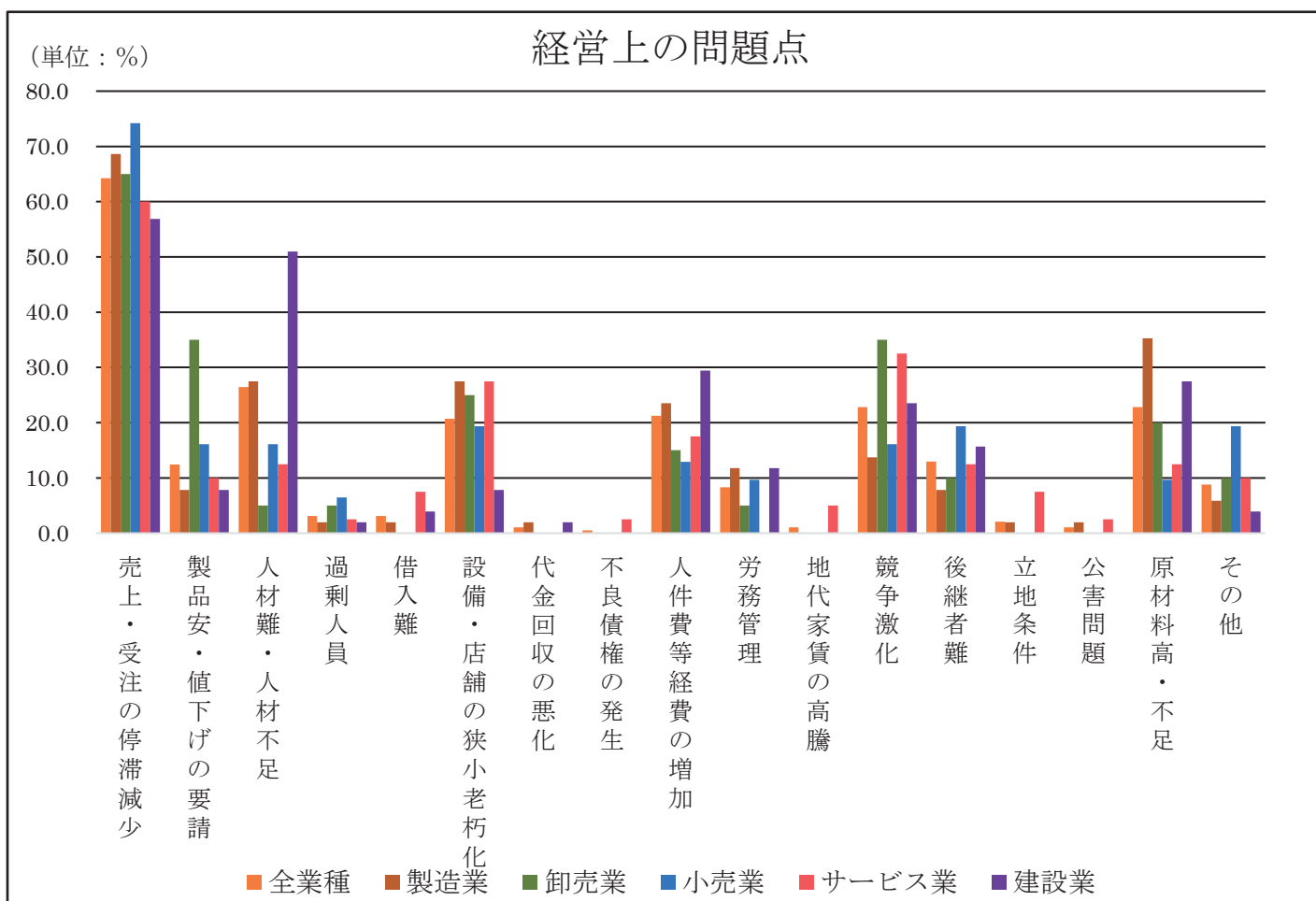
- ・「受け入れている」企業は7.8%となり、前回より1.5%増加。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は11.8%となり、前回より1.4%増加。



## 9. 経営上の問題点

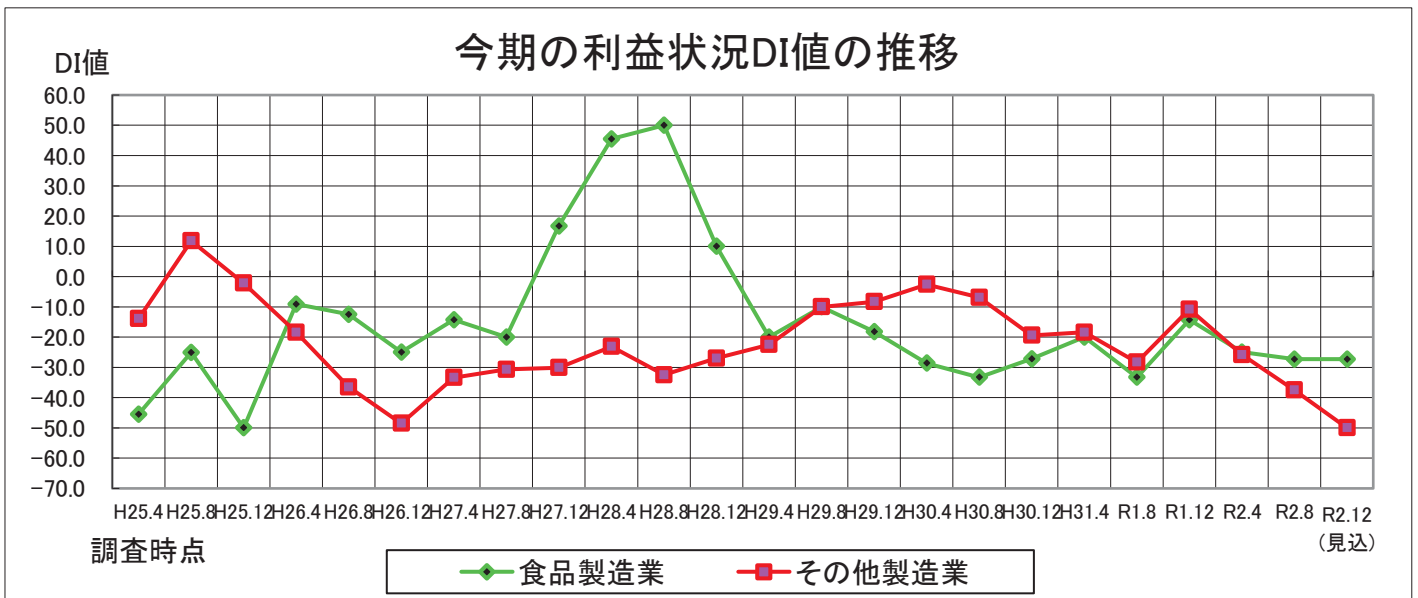
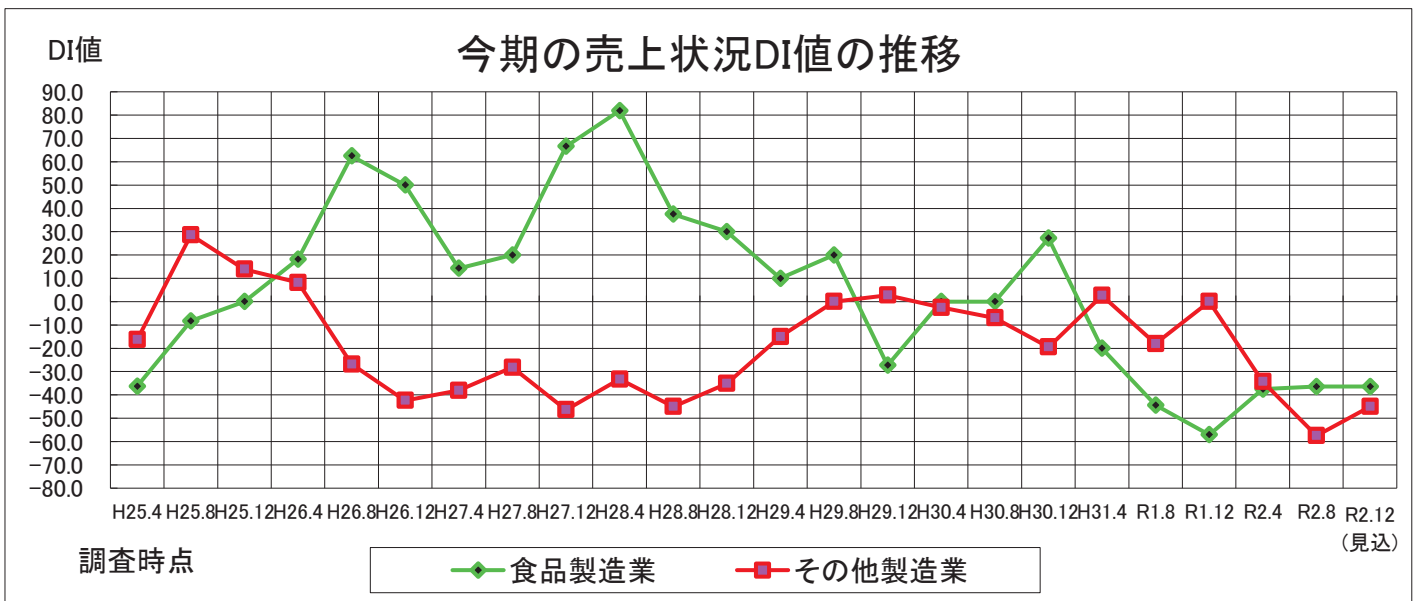
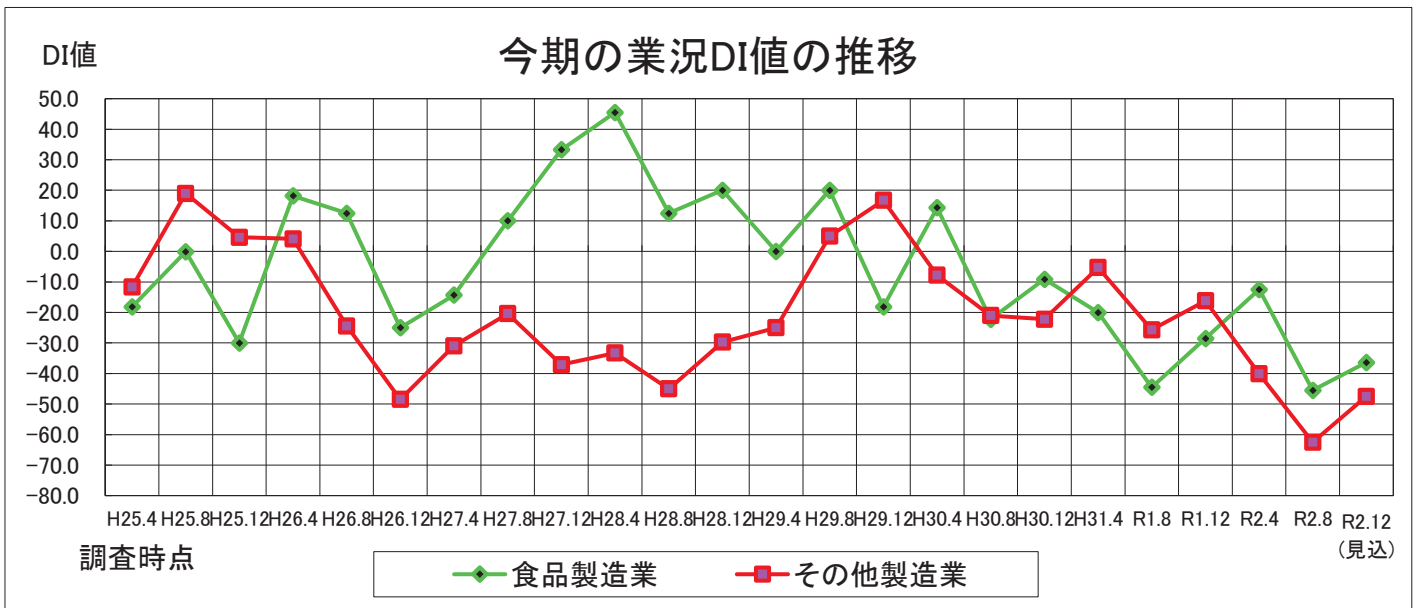
- ・全業種平均では「売上・受注の停滞減少」が64.2%と全体を通じて最も高く、次いで「人材難、人材不足」が26.4%、「競争激化」、「原材料高及び不足」が22.8%と高い割合となっている。
- ・「その他」の意見として、「新型コロナウイルス感染症による売上減少・先の見通しに対する不安、イベント中止による影響」などに苦慮する声が聞かれた。
- ・業種別の問題点上位は以下のとおり。（グラフは業種別のみ、無回答は除く）

製造業	売上・受注の停滞減少 (68.6%)	原材料高及び不足 (35.3%)	人材難、人材不足 設備、店舗の狭小老朽化 (27.5%)
卸売業	売上・受注の停滞減少 (65.0%)	製品安又は値下げの要請 競争激化 (35.0%)	設備、店舗の狭小老朽化 (25.0%)
小売業	売上・受注の停滞減少 (74.2%)	設備、店舗の狭小老朽化 後継者難 その他 (19.4%)	製品安又は値下げの要請 人材難・人材不足 競争激化 (16.1%)
サービス業	売上・受注の停滞減少 (60.0%)	競争激化 (32.5%)	設備、店舗の狭小老朽化 (27.5%)
建設業	売上・受注の停滞減少 (56.9%)	人材難・人材不足 (51.0%)	人件費等経費の増加 (29.4%)



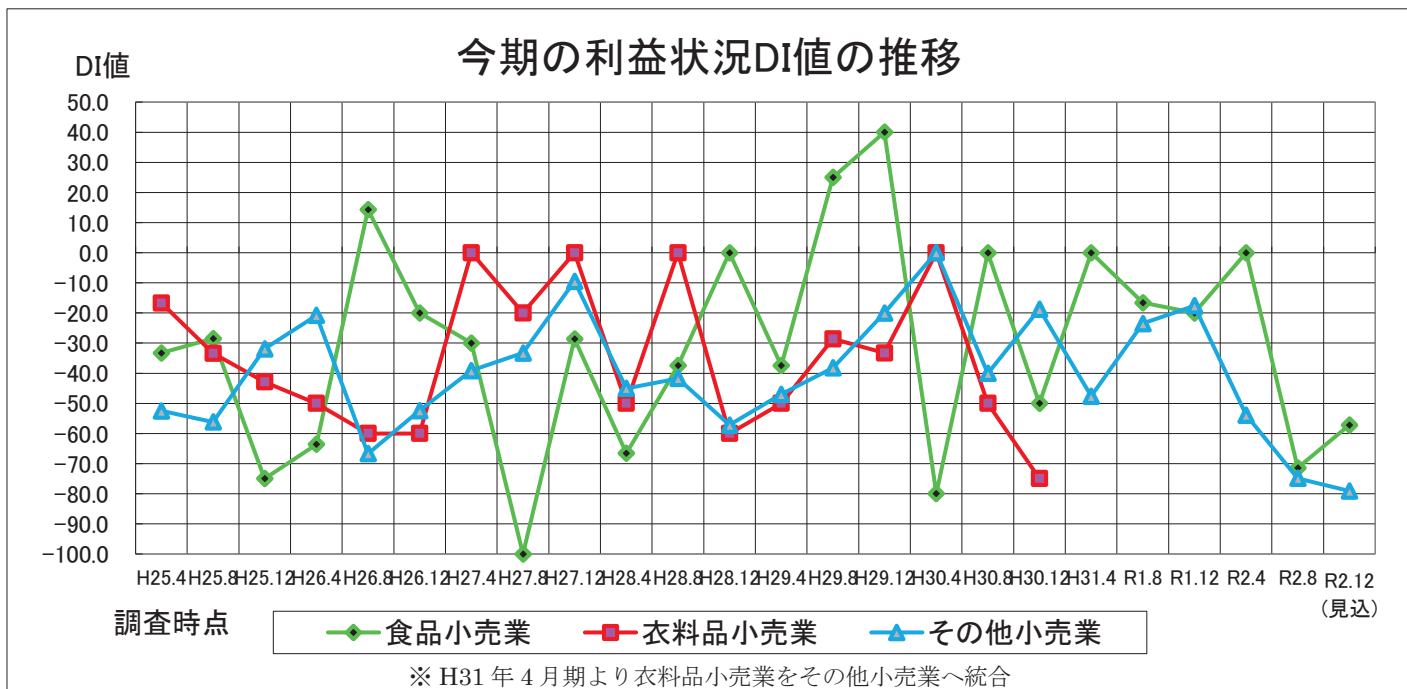
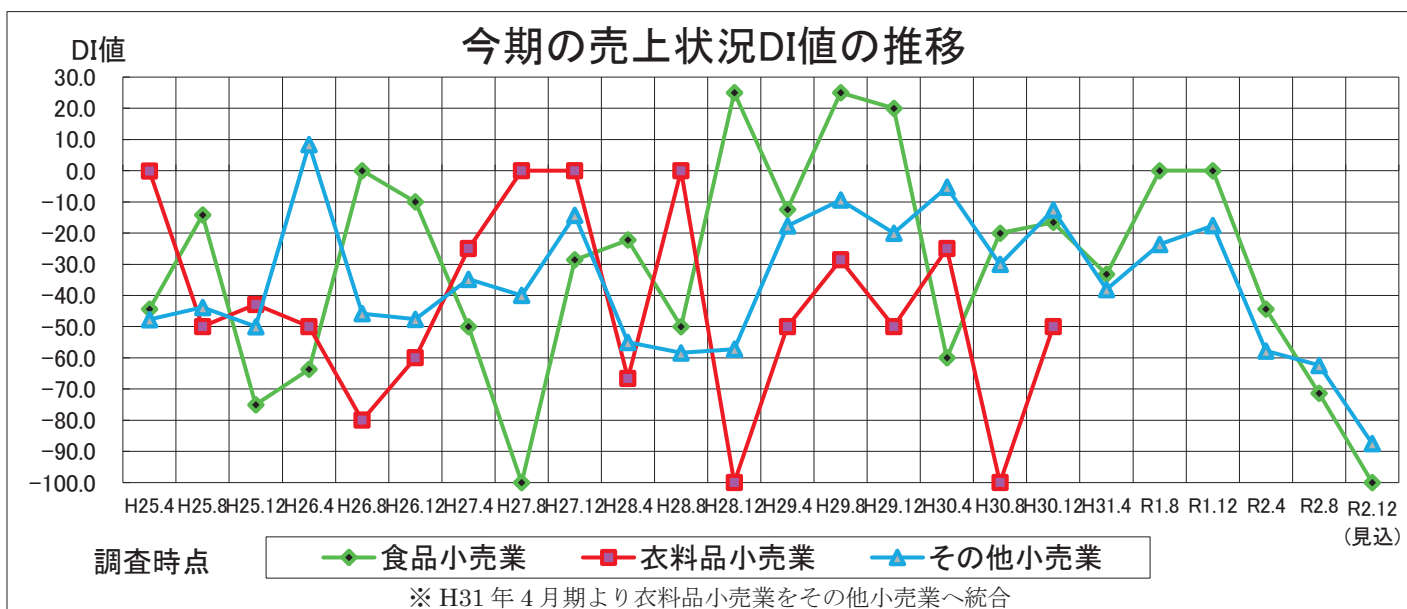
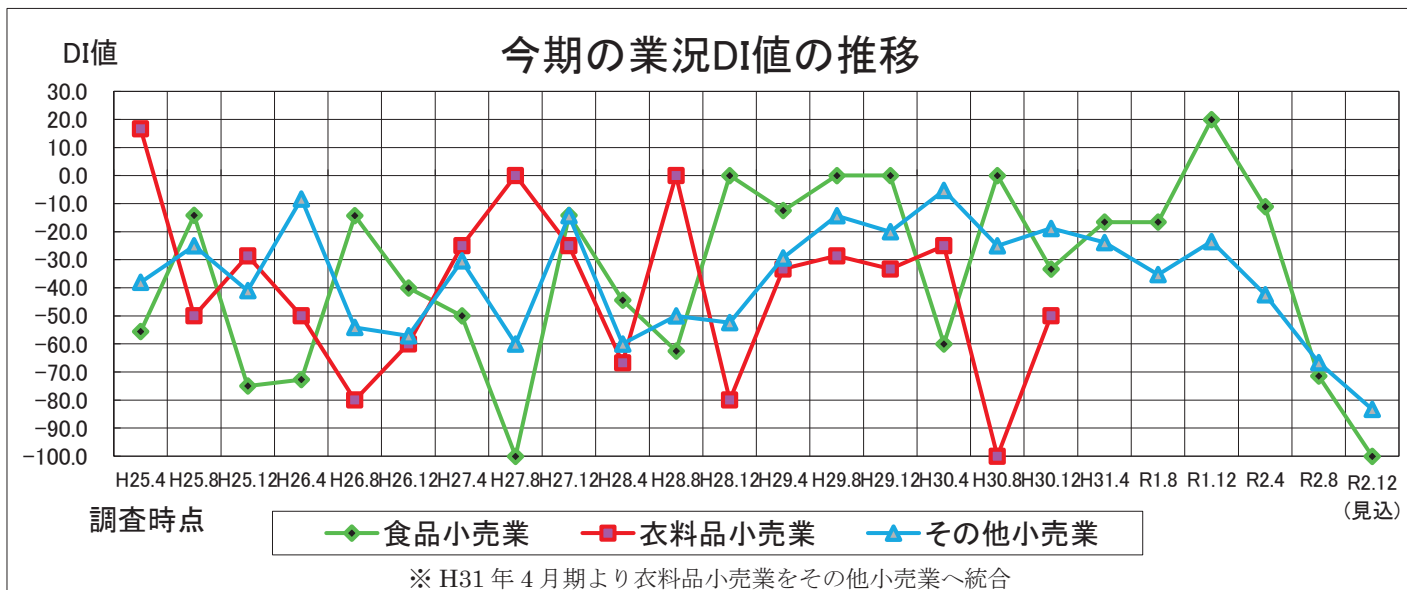
### Ⅲ 業種別参考資料

#### 1. 製造業

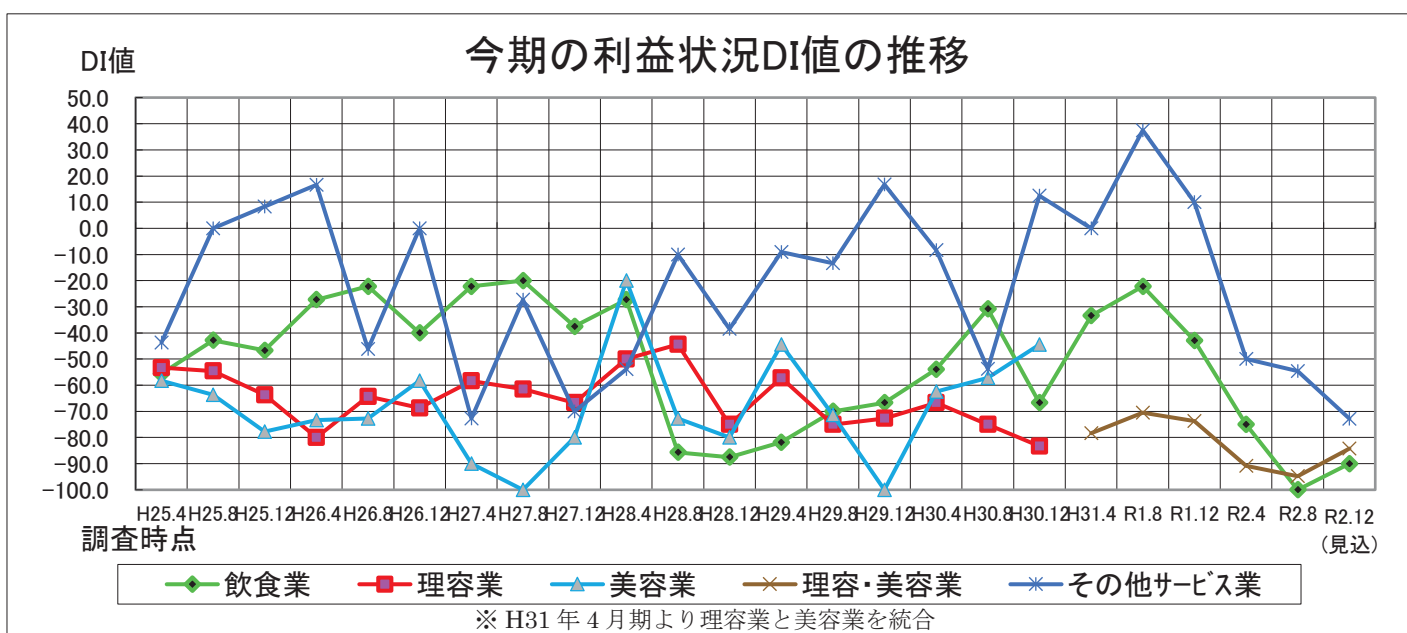
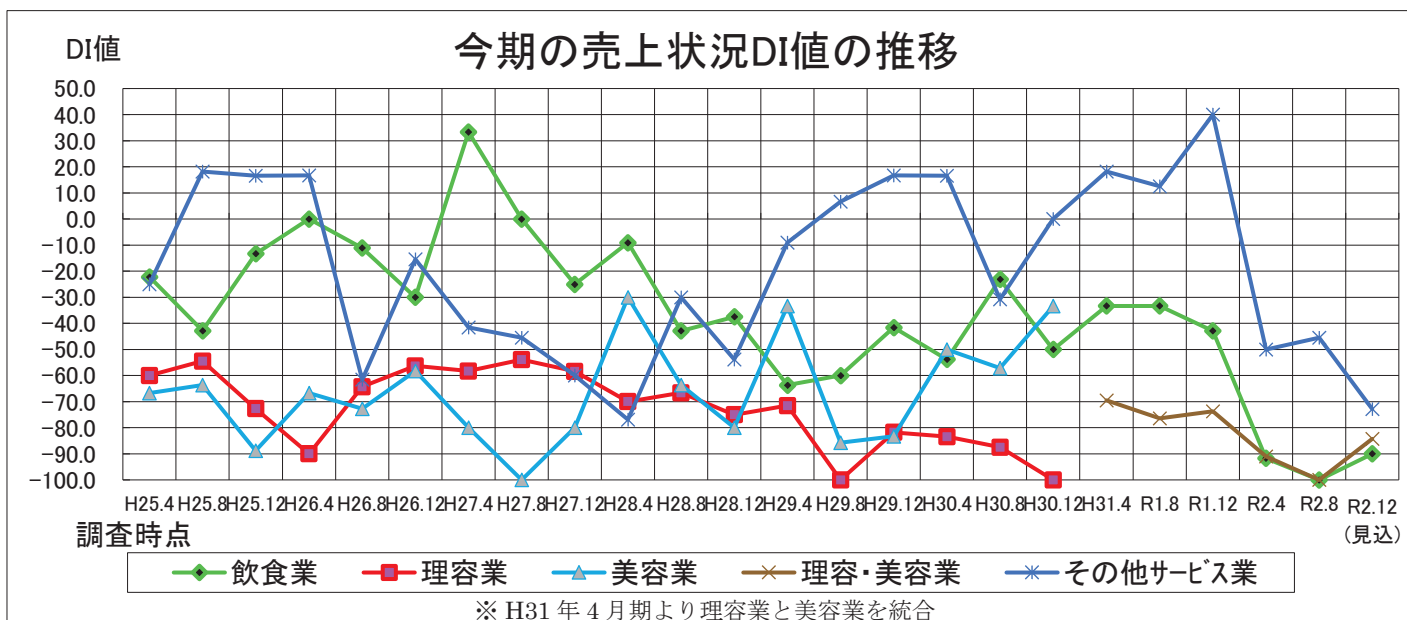
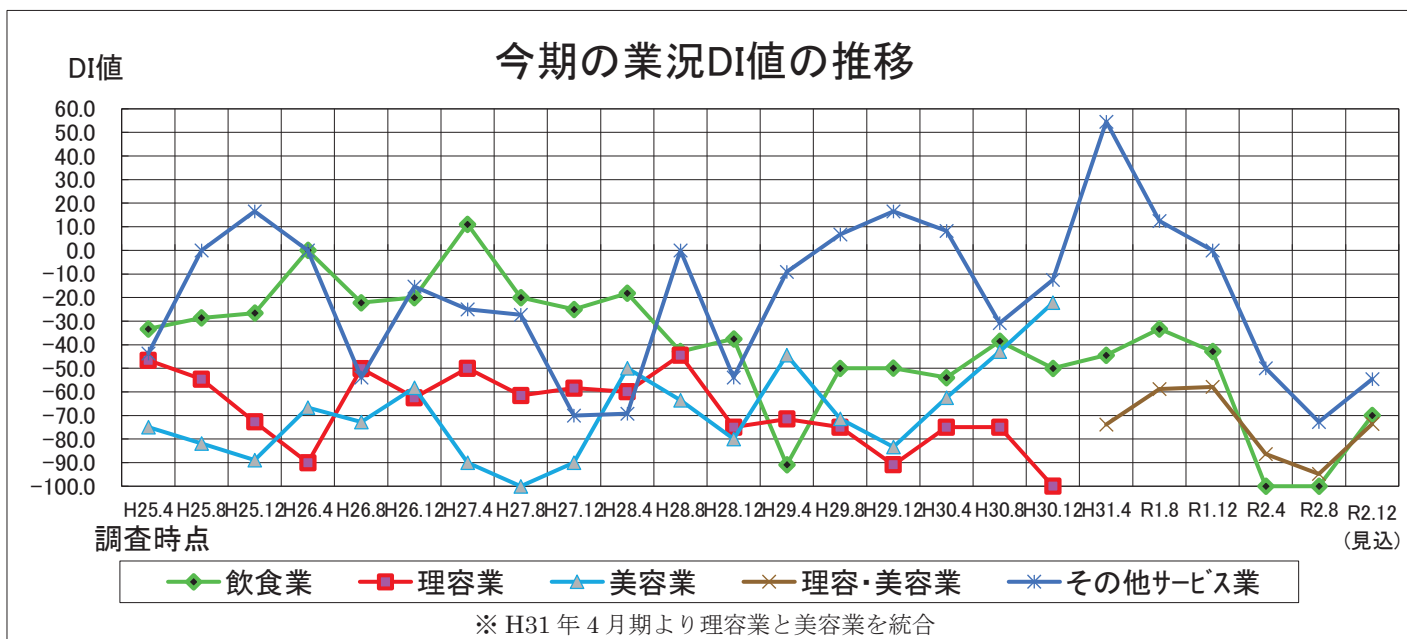




## 2. 小売業



### 3. サービス業



## 4. 建設業

